

シューレ大学・体験入学のお誘い

2017年



NPO法人東京シューレ 理事長 奥地圭子

シューレ大学は、日本で唯一のオルタナティブ大学です。子ども中心の、自由な学び場・活動の場を創り出してきたフリースクール東京シューレが、フリースクールの大学版として世に送り出して14年、小さいながら、学生主体で、ユニークな楽しい学びと活動の場を運営してきました。

自らが研究したいテーマ、表現したい分野を自らにあった方法で、仲間と水先案内人である講師と共に探求していく——入試もなく資格付与もないが、自分が本当に追い求めたいものを心ゆくまで求める面白さと自己価値の発見がある、そんな大学です。

えっ、そんな大学があるの？ どうやっているの、と思うあなた、「百聞は一見に如かず」です。一度、体験入学に来てみませんか。きっとあたたかさと気楽さを初日から感じていただけることでしょう。お待ちしております。

2017 年度開催の体験入学日程

■定例 <春>の体験入学： 2017年2月20日（月）～24日（金）

■定例 <秋>の体験入学： 2017年9月中旬

■そのほか、体験入学は、随時、個別にもお受けしています（土日を除く、連続する5日間）

※<春>と<秋>の定例の体験入学期間には、通常プログラムの他、次のものが含まれます。

1. シューレ大学説明会（初日 13:00～14:20）

学生が数名登場し、シューレ大学の仕組みをご説明したり、それぞれが大学でどんな活動をしたか、どんなふうにご参加しているかなどをお話します。

2. 茶話会（期間の中ほどの 50 分程度）

学生やスタッフと、お茶とお菓子を囲みながら自由に懇談する交流の時間です。個々の学生への、大学での生活などについての質問も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

※個別体験の場合、1と2がありませんが、初日にスタッフから、シューレ大学の仕組みなどについてご説明します。

■会場：シューレ大学

■参加費：1万300円

体験入学中の参加のし方

■上記の期間中、好きな日数、好きな時間にきてお過ごしください。初日の「シューレ大学説明会」にはなるべく御参加ください。

■講座は自由参加です。

■大学は毎日 10 時～19 時（水曜日のみ 13 時～19 時）に開いていますので、その間いつでもお越しになれます。

■体験された結果、入学を希望される場合は、最終日または後日に、一人 15 分程度の「入学委員会」という面談を行います。これは試験ではなく、やりたいこと・関心のあることがこのシューレ大学で可能かどうか、お互いに確認しあうための時間です。

■期間中、よくわからないことや確かめたいことなどありましたら、スタッフにいつでもお聞きください。個別相談も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

体験入学のお申し込み方法

① メール、ファックス、またはお電話にて、下記のことをお知らせください。

- 1) お名前
- 2) 〒ご住所
- 3) 電話番号
- 4) メールアドレス
- 5) 参加希望期間
- 6) シューレ大学をどこでお知りになったか

② お申し込みを受付後、こちらから受付確認のご連絡とともに、期間中のプログラムをお知らせします。

③ 参加費は当日ご持参ください。

④ お申し込みは先着順にお受けしています。

講座・プロジェクト・研究会一覧

■下記の講座・プロジェクト・研究会等は、2016年度前期現在開講中のものです。講座は、すべて、学生とスタッフで相談しながら創っています。そのため、年度の途中でも、新しい講座が増えたり、内容が変更になる場合もあります。

■講座によっては、隔週開催や、月1回開催のものもあります。体験入学の期間（週）によって、開講されないものもありますので、お申込みいただいた方には、その期間のタイムテーブルをお送りします。

<講座>

学歴社会・不登校
オルタナティブ・エデュケーション社会学
生き方創造コース ライフスタイル
生命論
文学・映画ディスカッション
現代史 世界史 政治・経済
ソーラー（環境） 数学 哲学
ジェンダー・セクシャリティ
落語研究会
英語（基礎英語／英会話／コンプリヘンシブ・イングリッシュ） フランス語
韓国語（基礎／発展）
Web講座 PC講座 インデザイン講座
仕事を知る 食と健康
ヨガ キック・ボクシング
オカリナ リコーダー
ヴォイストレーニング
ポップミュージック

ギター講座 楽典
美術 デザイン 書道

<ゼミ>
研究ゼミ

<プロジェクト>
音楽プロジェクト
映像プロジェクト
演劇プロジェクト

<研究会>
不登校研究会

<その他>
運営会議
広報委員会
大学放談
異分野交流
アルバイトの会

シューレ大学とは

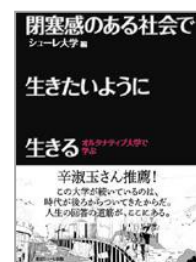
1999年、フリースクール東京シューレを母体に若者とスタッフで設立しました。知る・表現することを自分のスタイルで進めながら、自分とは何者かを問い、自分の生き方を創ることを模索する場となっています。一般的な大学のように、最初から決められたカリキュラムを学生が選択するのではなく、一人一人の学生が関心のあることを、どうやったら進めていけるかをスタッフと相談しながらやり方を探っていくのが特徴です。ですから講座もすべて学生の希望から開設されたものです。日常の生活に関することも、広報も、学生が主体で相談し合いながら決めています。「自分から始まる学び」「当事者研究」を大きな特徴とし、毎年「研究イベント」の開催と共に紀要を発行。表現も盛んで「国際映画祭」「演劇公演」「美術展」を毎年開催しています。オルタナティブ大学という世界的にもユニークな特性から、海外からも多く関心をもたれ、これまでに30か国に及ぶ国の人々と交流、留学生やインターン生も頻繁に受け入れています。平田オリザ、最首悟、上野千鶴子、原一男ら様々な分野の約50人の講師・アドバイザーがいます。

◆シューレ大学についての本を発行しています。

『閉塞感のある社会で生きたいように生きる—オルタナティブ大学で学ぶ—』

＜シューレ大学編 発行：2010年2月 東京シューレ出版

シューレ大学とはどんな場所で、どんな特徴があるのかなど、基本的な情報のほか、実際に学生たちがどのように研究や表現活動を行っているかを、学生たち自身が執筆しています。ご関心のある方、どうぞお手にとってご覧ください。



シューレ大学から教わったことは山ほどあります。全てを伝えたいと思うが、私としても、この原稿用紙としても限界があるので、できるだけお伝えしたいと思う。シューレ大に会う前、「教育」とは学校の教科書や強制で、学校の灰色っぽい寂しさが思い出された。「勉強って頭の表面に鉄板を塗りつけて、重くて歩きづらくするんだ」。だからそこから遠くへ行こうとする。知りたいことは沢山ある。でもそれが学校の勉強でないことは自覚していました。

どうにか知りたいことを知りたい思いで、学ぶ方法を自分なりに探そうと、いろいろな場所に行きました。でも常に、その思想にその時の自分が合っているタイミングを注意深く見計らって入り、自分が変化し場所が合わなくなると、居られなくなって去る。とゆう事が普通でした。それは楽でもあったのです。自分は自分の基準にのみ従えばよいから。

でもシューレ大だと、その基準はあんまり意味がない。だって自分が変化したら、「じゃあやり方も変えてもいいんじゃないの」と言われるんだもの。簡単じゃなくて終わりが無い。限界ってないんだ、と救われた気がした。ここで私は、自分がそれまで持ってきた「教育」という物への強い猜疑心に気づき、私の周りに居る日本で育った人々の多くが、似た感覚を持っていると知りました。

ここは、「人と人の中で変化する」とか「感じあう」事で創られる場だと思います。でもかつてならこうゆう言葉は、「教育」のかつてのイメージに結びつき、「矯正されるんじゃないか」「どちらかがどちらかに従う」とゆうイメージにも結びついて、影響される事が恐くなったり人と居るのに心を閉ざしたりしたかもしれません。

決断するのは自分だけですが、「自分の基準」ってとても怪しい。そもそも基準って怪しい。

今私が思う「学び」は、とても自由奔放に飛び回る、非常に人間的なものだと思います。学びとゆう枠に合うように自分の形を変えたりしません。私達はすでに始めから「学び」を手を持っていると思います。

場所・お問い合わせ・お申込み先



NPO法人東京シューレ シューレ大学

〒162-0056
東京都新宿区若松町 28-27
Tel: 03-5155-9801
Fax: 03-5155-9802

Email: univ@shure.or.jp
URL: <http://shureuniv.org/>

◇都営地下鉄大江戸線「若松河田」
駅下車 若松口徒歩 5 分

◇東京メトロ東西線「早稲田」駅下
車 2 番出口徒歩 10 分